

## (2) 患者分類結果について

- 前述のとおり「医療区分」、「ADL 区分」、「認知機能障害加算」の3点から患者分類を11分類とした。
- 11分類について、医師、看護師、准看護師、看護補助者、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士によるケア時間ならびにリハスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）による集団リハビリテーション実施時間の合計値を患者1人当たりケア時間（職種別人件費で重み付け）に換算し、その値に対する説明率を検証したところ、分散分析による説明率は25.6%であった（前回21.0%）。
- 患者分布を7月27日の患者分類試案と比較すると、医療区分2の割合が5.0ポイント減少し、医療区分3の割合が4.2ポイント増加した。医療区分1は前回とほぼ同様であった。
- 同様に、認知機能障害加算に該当する割合は、前回と比較して、0.4ポイント減少した。

### 患者分類案に基づく患者分布

ADL 区分 3	42.5%	14.4%	18.5%	9.6%
ADL 区分 2	29.4%	18.0%	9.6%	1.8%
ADL 区分 1	28.1%	認知機能障害加算あり 5.4%	認知機能障害加算あり 0.9%	1.6%
		16.3%	3.8%	
		54.1%	32.8%	13.1%
		医療区分 1	医療区分 2	医療区分 3

(参考 患者分類試案 (7月27日基本小委提出案) に基づく患者分布)

ADL 区分 3	42.5%	11.7%	22.5%	8.3%
ADL 区分 2	29.4%	19.4%	9.7%	0.4%
ADL 区分 1	28.1%	認知機能障害加算あり 5.3%	認知機能障害加算あり 1.4%	0.2%
		17.0%	4.3%	
		53.3%	37.8%	8.9%
		医療区分 1	医療区分 2	医療区分 3